



会 長 渡辺 正弘 副会長 渡辺 章 クラブ会報 菊地 久子
会長エレクト 安部 敏弘 幹 事 本多 勝也

会長あいさつ

会長 渡辺 正弘



ロータリー財団とは

1917年当時のロータリー
会長アーチ・クランフが「世
界で良いことをする」ための

基金を設ける。

案を発表し、この構想を基に創設されました。

*寄付金の種類

- 年次基金……地元や世界で実施されるプロ
ジェクトへの欠かせない資金源になります。
- 恒久基金……ロータリー財団に継続的な収入
がもたらせるのでプログラムを恒久的に支
え、財団の確かな未来を築きます。
- ポリオプラス基金……子供たちの生涯ポリオ
から守るための資金源となります。

2017-18年度から3年間にわたり、会員の寄付
額(上限5,000万)ドルに対し、ビル&メリンダ・
ゲイツ財団が2倍の上乗せ(3年間で最大計4億
5,000万ドル)約束しています。

当クラブ寄付状況

- ・ロータリー財団(年次基金)
120ドル(1人)×110円(6月レート)×35名
(会員数)¥462,000
- ・ロータリー財団(ポリオプラス)募金箱にて
¥30,000
- ・米山記念奨学会特別寄付金 ¥41,800

以上送金致しました。

本日のプログラム

地区研修・協議会報告会

5・6月のプログラム

- 第1214回例会：5月30日(木)／地区研修・協議会報告会
- 第1215回例会：6月6日(木)／会長・幹事スピーチ
- 第1216回例会：6月13日(木)／「クラブ協議会」本年度
- 第1217回例会：6月20日(木)／「クラブ協議会」次年度
- 第1218回例会：6月27日(木)／夜間移動例会・さよなら例会

幹事報告

麻薬撲滅キャンペーンの ご案内

- ◆日時／令和元年6月12日(水)
午後4時集合
- ◆場所／ヨークベニマル二本松インター店

●国際ロータリークラブ会長
バリー・ラシン

●国際ロータリー 2530 地区ガバナー
平井 義郎 (福島中央RC)

●県北第一分区ガバナー補佐
古俣 猛 (福島RC)

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 一、真実かどうか
 - 二、みんなに公平か
 - 三、好意と友情を深めるか
 - 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
承 認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
ク ラ ブ 番 号 29750
例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-8577
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677

2019 - 20年度 地区研修・協議会報告会

国際ロータリー第2530地区の2019-20年度地区・研修協議会は5月18日(土)に(福島市飯坂町)パルセいいざかで開かれました。

県内65ロータリークラブの次期役員らが新年度の国際ロータリーのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」に沿った活動目標と運営方針を確認しました。

開会セレモニーに約650人が出席した。熊坂友好実行委員会があいさつ、福島中央RCの大出隆

秀会長が歓迎の言葉を述べ、平井義郎ガバナーがあいさつした。続いて同RCの芳賀裕ガバナーエレクトが「福島からロータリーの心を世界に発信する」との思いを持ち、活動を展開したい」と述べ、「ロータリー賞」各項目の達成に向けて挑戦するよう求めました。分科会も開き、各委員会で活動方針・計画などを話し合った。

又地区大会は10月26日、27日の両日、福島市で開催される。



地区研修・協議会報告会を行っている会長エレクト

安部 敏弘 会員



地区研修・協議会に出席して米山記念奨学会学友委員会の説明を行っている

佐藤 壮一郎 会員



ガバナーエレクト

芳賀 裕 会員

ニコニコ BOX

にこにこ BOX 委員長 藤井 利則

会長 渡辺正弘、幹事 本多勝也、安部敏弘会員、佐藤智彦会員、菅野守芳会員
藤井利則会員、佐藤壮一郎会員、秋山和久会員、橋本哲弥会員、齋藤敏夫会員

*米山記念寄付者・・・

*ロータリー財団・・・菅野守芳会員、渡辺正弘会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 委員長 藤井 利則

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
35名	20名	57%	0名	57%

ニコニコ BOX

目標額	500,000円
小計	11,000円
累計	499,000円